

気象・気候と植物の関係

— さくらを眺めてきて分かったこと —

3/24(日)

13:00 - 15:30

話題提供 **気象庁熊本地方気象台**

参加
無料



集合：熊本地方合同庁舎駐車場入口
(熊本市西区春日2丁目10-1)

対象：どなたでも

共催：熊本大学・熊本地方気象台
国土交通省阿蘇砂防事務所・阿蘇青少年交流の家

今年もさくらのシーズンが近づいてきました。

全国の気象台では、1953年から、さくらの開花など、生物の季節を代表する現象を観測してきました。今回のサイエンスカフェでは、熊本地方気象台のさくら(そめいよしの)の標本木を観察していただきます(咲き始めの状態だと思えます)。生物の専門家ではない気象台が、なぜ、さくらの開花などの観測を行ってきたのか。その結果から何が分かったのか、をお話します。そして、将来、熊本のさくらの開花はどうなるのか、を考えてみます。

また、昨年9月のサイエンスカフェで見学した布田川断層のトレンチ調査地点(益城町)で採取した断層剥ぎ取り標本をご覧ください。

布田川断層標本



お申込み・お問い合わせ先

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
減災型社会システム部門

下記 Web ページか下の二次元コードからお申込み下さい。
<https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/disaster/>
お電話の場合は 096-342-3489 (平日 9:00-16:00)
締切り 3月22日 12:00 (ただし定員に達し次第締め切ります)

定員30名

お早めに！



くまもとサイエンスカフェとは？

お茶を飲みながらゆったりとした対話形式で、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立て頂くことを目的とした取り組みです。



熊大 減災センター



サイエンスカフェ年間スケジュールなど詳細はHPをご覧ください